MSDSL010010－00－01
作成　2008年07月23日
改訂　2009年04月13日

製品安全データシート

１．製品及び会社情報
製品名　：潤滑油
　　Ｌ０１００１０－００
用途　　：チェーン用潤滑剤
会社名　：ノーリツ鋼機株式会社
住所　　：和歌山県和歌山市梅原579-1
担当部門：品質保証部
連絡先　：電話番号（073-454-0309）　ＦＡＸ番号（073-454-4618）
　　E-mail（msds@nkc.noritsu.co.jp）

２．組成、成分情報
成分表（*は当社の機密のため開示できません）

化学名	CASNo.	質量%	備考
潤滑油基油*	－	95%以上	－
潤滑油添加剤*	－	5%以下	－

３．危険有害性
分類の名称　：　分類基準に該当しない。
　　主な危険有害性は次の通りである。
危険性　：　可燃性液体類に該当
有害性　：　現在迄のところ有用な情報はなし。
環境影響　：　現在迄のところ有用な情報はなし。

４．応急措置
目に入った場合　：　直ちに清浄な水で十分に洗い流したのち、医師の診察を受けて下さい。
皮膚に付着した場合：　水と石鹸で洗って下さい。
吸入した場合　：　新鮮な空気の場所に移動させ、安静にして下さい。必要なら医師に相談して下さい。
摂取した場合　：　無理に吐かせないで、速やかに医師の診察を受けて下さい。口の中が汚染されている場合は、水で洗って下さい。

５．火災時の措置
消火方法　：　火元への燃焼源を断つ。
　　初期の火災には、粉末、炭酸ガス消化剤を用いる。
　　大規模火災の際には、泡消化剤を用いて空気を遮断することが有効である。注水は、火災を拡大し危険な場合がある。
　　周囲の設備に散水して冷却する。
　　消火作業の際には、風上から行い必ず保護具を着用する。
　　火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。
消化剤　：　霧状の強化液、泡、粉末または炭酸ガス消化剤が有効である。
　　消化棒状の水を用いてはならない。

６．漏出時の措置
周囲の着火源を取除く。

大量の場合　：　漏洩した場所の周辺にはロープを張るなどして人の立ち入りを禁止する。作業の際には必ず保護具を着用する。漏洩した液は土砂などでその流れを止め、安全な場所に導いた後、出来るだけ空容器に回収する。河川、下水道等に排出されないように注意する。

少量の場合　：　土砂、ウエス等で吸着させて空容器に回収し、その後を完全にウエス等で拭い取る。

海上の場合　：　オイルフェンスを展開して拡散を防止し、吸着マット等で吸取る。薬剤を用いる場合には運輸省令で定める技術上の基準に適合したものでなければならない。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い　：　指定数量以上の量を取扱う場合には、法で定められた基準を満足する製造所、貯蔵所、取扱所で行うこと。
炎、火花または高温体との接触を避けるとともに、みだりに蒸気を発生させないこと。
常温で取扱うものとし、その際、水分、夾雑物の混入に注意すること。
静電気対策を行い、作業者、靴等も導電性の物を使用すること。
石油製品から発生した蒸気は空気より重いので滞留しやすい。そのため換気および火気などへの注意が必要である。
危険物が残存している機械設備などを修理または加工する場合は、安全な場所において危険物を完全に除去してから行う。
飲まないこと。
皮膚に触れたり、目に入る可能性がある場合には保護具を着用すること。
ミストが発生する場合には呼吸器具等を使用してミストを吸入しないようにすること。
容器から取り出す時はポンプ等を使用すること。細管を用いて口で吸い上げないこと。
容器は、必ず密閉すること。

保管　：　直射日光を避け、換気の良い場所に保管すること。
危険物の表示をして保管すること。
熱、スパーク、火災並びに静電気蓄積を避ける。
保管場所で使用する電気器具は、防爆構造とし、器具類は接地すること。
ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質との接触並びに同一場所での保管は避けて下さい。

容器の取扱い　：　空容器に圧力をかけないこと。圧力をかけると破裂することがあります。
容器は溶接、加熱、穴あけまたは切断しないしないで下さい。爆発を伴って残留物が発火することがあります。

８．曝露防止及び保護措置

許容濃度　：　日本産業衛生学会（2004年度版）：3mg/m^3（鉱油ミスト）
ＡＣＧＩＨ（2004年度版）：時間加重平均 TWA　5mg/m^3（鉱油ミスト）

設備対策　：　ミストが発生する場合は発生源の密閉化または排気装置を設け、取扱場所近辺に、洗眼及び身体洗浄のための設備を設けて下さい。

管理濃度　：　規程なし

呼吸用保護具　：　通常必要としないが、必要に応じて防毒マスク（有機ガス用）を着用して下さい。

保護眼鏡　：　飛沫が飛ぶ場合には普通型眼鏡を着用して下さい。

保護手袋　：　長期間または繰り返し接触する場合には耐油性のものを着用して下さい。

保護衣　：　長期間にわたり取扱う場合または汚染される場合には耐油性の長袖作業服を着用して下さい。汚染された衣類は完全に清浄にしてから再使用して下さい。

９．物理的及び化学的性質

外観	：	褐色液体
発揮性	：	なし
密度（１５℃）	：	約 0.93mg/m^3
初留点	：	250℃以上
溶解度	：	不溶
流動点	：	－45℃
引火点	：	264℃（ＣＯＣ）
発火点	：	測定データなし
爆発限界	：	上限： 7容量%　　下限： 1容量%（推定値）

10. 安定性及び反応性

可燃性	：	あり
発火性（自然発火性、水との反応性）	：	なし
酸化性	：	なし
自己反応性・爆発性	：	なし
安全性	：	安定
反応性	：	強酸化剤との接触を避ける

11. 有害性情報

皮膚腐食性	：	なし
刺激性（皮膚、眼）	：	長期または繰り返し接触する場合、刺激性がある恐れあり。
感作性	：	データなし
急性毒性（50%致死量を含む）	：	経口　ラット　ＬＤ50：2g/kg以上（推定値）
亜急性毒性	：	データなし
慢性毒性	：	データなし
がん原性（基油）	：	ＯＳＨＡ：使用している基油は、ＩＡＲＣではグループ3(発がん性について分類できない物質）に分類される。
		ＥＵ　：発がん性物質としての分類は適用される必要はない。
がん原性（添加剤）	：	データなし
変異原性（微生物、染色体異常）	：	データなし
生殖毒性	：	データなし
催奇形性	：	データなし

その他（水と反応して有害なガスを発生する等を含む）：
飲むと下痢、嘔吐する可能性があります。
目に入ると炎症を起こす可能性があります。
皮膚に触れると炎症を起こす可能性があります。
ミストを吸引すると気分が悪くなることがあります。

12. 環境影響情報
環境への影響について、有用なデータはありません。

13. 廃棄上の注意
都道府県及び市町村の法規・条例による廃棄の規制に従って廃棄処理を行うか,産業廃棄物処理業者に処理を委託して下さい。なお、産業廃棄物処理業者についてはお近くの弊社営業所、事務所にお問い合わせ下さい。

14. 輸送上の注意
陸送輸送

消防法　：　消防法の危険物には該当しないが、可燃性液体類として市長村の火災予防条例が適用される。
容器　　：　危険物４類、危険物等ＩＩＩと同等の容器を使用する。
容器表示：　「可燃性液体類（潤滑油）」、数量並びに「火気厳禁」その他これと同一の意味を有する表示をする。

海上輸送及び航空輸送
船舶安全法：　非危険物　個別運送及びばら積み運送に於いて
航空法　　：　非危険物

注意事項
引火性液体なので「火気厳禁」

15. 適用法令
労衛法　　：　既存化学物質名簿への収載
化審法　　：　既存化学物質名簿への収載
市町村の火災予防条例：　可燃性液体類
水質汚濁防止法　：　油分排出規制（5mg/1 許容濃度）
ノルマルヘキサン抽出分として検出される
海洋汚染防止法　：　油分排出規制（原則禁止）
下水道法　　：　鉱油類排出規制（5mg/1）
廃棄物の処理及び清掃に関する法律：　産業廃棄物規制（拡散、流出の禁止）

16. その他の情報
注意：本文の記載内容は取扱説明書に指定された通常の条件下で、本製品のふさわしい使用に対して、当社の見解を表したものです。さらに、記載されているデータは、当社の最善の知見に基づくものですが、情報の正確さおよび安全性を保証するものではありません。また、すべての化学品には、未知の有害性があり得るため、取り扱いには細心の注意が必要です。特殊な取り扱いには、この点ご配慮をお願いいたします。